

# おおま

No. 106  
岬の光

令和2年8月1日発行

議会だより

令和2年度奥戸小中学校



最後の合同ラストラン



奥戸応援歌

6  
月  
定  
例  
議  
会  
主  
な  
内  
容

○令和2年 第2回定例会

P 2～3

○4議員が一般質問

P 4～7

○全員協議会・特別委員会報告

P 8～10

○特別委員会視察報告・県下議員研修会報告

P 11

○故千代谷誠議員追悼・編集後記

P 12

# 第2回 6月定例会

令和2年第2回定例会を6月9日開会し、6月12日に閉会しました。

本議会に提案された報告3件、承認5件、議案6件、同意3件はすべて原案とおり承認・可決・同意しました。

## 令和2年度 補正予算

### 一般会計

歳入歳出それぞれ3億777万円を追加し、歳入歳出予算総額53億6987万円とした。

### 歳入の主なるもの

#### 国庫支出金

○国庫補助金でエネルギー構造高度化転換理解促進事業費補助金2億1606万円、防災・安全交付金350万円、公立学校情報機器整備費補助金1147万円計上。

#### 県支出金

○県補助金で電源立地地域対策交付金5174万円追加。

#### 寄附金

○寄附金でふるさと応援寄附金383万円追加。

### 繰入金

○繰入金で財政調整基金繰入金2000万円取り崩し。

### 歳出の主なるもの

#### 総務費

○財産管理費でふるさと応援基金積立金383万円、公共用施設維持運営基金積立金3683万円を追加。

○企画費でふるさと応援寄附金用報償金114万円追加。

○原子力発電所対策費で再生可能エネルギー導入可能性調査業務委託料1434万円計上。

#### 民生費

○社会福祉総務費で(仮称)複合施設建設基本・実施設計業務委託料2654万円減額。

#### 衛生費

○環境衛生費で旧墓地整備計画調査業務委託料374万円計上、新墓地造成工事2695万円減額。

#### 農林水産業費

○北通り種苗育成センター費で太陽光発電設備設置実施設計業務委託料638万円、太陽光発電設備設置工事1億8360万円計上。

#### 商工費

○観光費でブルーマリソフエステイバル企画運営委託料1683万円減額。

○おおも温泉費で海峡保養センター・養老センター指定管理料820万円追加。

#### 土木費

○道路橋梁維持費で大間冷水蛇浦線舗装補修工事800万円、大間下手1号線外舗

装補修工事6620万円計上。

○港湾建設費で港湾浚渫事業負担金260万円追加。

#### 消防費

○非常備消防費で大間町消防団事務委託料372万円減額。

#### 教育費

○小学校費の学校管理費でGIGAスクール構想用端末設定委託料247万、機械器具費206万円計上。

○中学校費の学校管理費でGIGAスクール構想用端末設定委託料148万円を計上、大間中学校トイレ改修工事738万円追加し、機械器具費1131万円計上。

#### 予備費

○財源調整により217万円減額計上。

### 債務負担行為補正

○海峡保養センター・養老センター指定管理料で新型コロナウイルス感染症の影響による当該施設の経費を精査し、令和2年度分の限度額の変更。

### 水道事業会計 補正予算

○職員の人件費精査に伴う人件費の補正であり、収益的収入及び支出の営業費用40万円、特別損失9万円を追加し、収益的支出の総額1億6196万円。

○議会の決議を経なければ流用することのできない経費の職員給与費40万円追加。

# 専決処分

## 報告

- 材木漁港整備事業、港湾浚渫事業に係る歳入歳出予算の経費を令和2年度に繰越。
- 大間崎第二駐車場整備工事請負契約438万円増額し、6488万円に変更。
- 大間町地区（材木漁港）漁港施設機能強化工事請負契約620万円増額し、9638万円に変更。

## 承認

- 地方税法等の一部改正施行に伴い、大間町税条例の一部改正。
- 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の一部改正施行に伴い、大間町固定資産評価審査委員会条例の一部改正。
- 地方税法等の一部を

改正する法律が公布され、大間町税条例の一部改正。

- 地方交付税、地方譲与税等の確定及び財源調整の予算措置のため令和元年度大間町一般会計の補正。
- 特別定額給付金、子育て世帯への臨時特別給付金、新型コロナウイルス感染症対策費及び財源調整の予算措置のため令和2年度大間町一般会計の補正。

## 特例に関する条例

※新型コロナウイルス感染症拡大防止にあたり、地域社会経済が厳しい状況下にあることに鑑み、一定期間において議員報酬月額、特別職職員の特給料月額の特例を定める。

## 条例の一部改正

- ※大間町公共用施設維持運営基金条例の一部改正。
- ※大間町国民健康保険条例の一部改正。
- 新型コロナウイルス感染症及びそのまん延防止のための措置が納税者等に及ぼす影響の緩和を図ることを目的に、国の指針が示されたことに伴い必要な所要の改正。

## 人権擁護委員

再任

熊谷 真理子

## 任命

# 大間町農業委員会委員



野崎 和歌



田中 國雄



岩泉 盛利



紀國 昭弘



佐々木 陽治郎



大久保 美代子



山本 隆



新田 準司



# 一般質問



宮野 昭一 議員

質問時間 30分

## のびのび・生き生き・悠々、 達成度合いは？

### 質問

町長は就任以来一貫して、のびのび・生き生き・悠々つまり、子供達はのびのびと育ち、働き盛りの人達は生き生きとして仕事をし、お年寄りも悠々と暮らす。これを目標にして施政方針、所信表明のなかで話してきましたが、16年前と比較してどうですか。

### 町長答弁

私は15年間これを基本理念として取り組んでまいりました。合併問題と、フェリー問題は議会はもとより、町民皆様のご理解をいただき、前にすすめることができました。達成度を数値で表すことは難しいが、施設整備やソフト事業として取り組んできたも

のについては、私の思いの中で75パーセントぐらいのところへ来ている。

16年前から大きく進展したかについては、下手浜児童公園の設置、保育料の無償化や放課後子ども教室の実施など子育て環境は進展。長寿者顕彰に訪問し元気な方が多く嬉しく思っています。障害者を持たれた方の施設利用も増え、家族の負担軽減につながり進展してきたのではないのでしょうか。

産業面の漁業では、ナマコの種苗生産、放流により水揚げの向上につながっているものの、つくり育てる漁業の在り方を早急に進めていくことが必要です。漁業振興の部分については、大きく進展してきたことにつながらない。

## 次期町長選に、 勇退か 再度立候補 するのか

### 質問

任期満了に伴う町長選挙がありますが町長は16年間の実績を良くし、勇退するのか、目標未達成として5期目に立候補するのか。

### 町長答弁

町の経済、産業振興についてはまだまだ道半ばでございます。それらのことを踏まえながら、今計画している複合施設、消防庁舎、2022年には町制施行80周年を迎える事業など、今抱えている課題を進め、のびのび・生き生き・悠々を基本理念に据え、幸せを実感できる町づくりを目指し、5期目に挑戦したいと考えております。

## 経済問題

### 再質問

基幹産業である漁業、農業もそうですが商工業も含めて完全に大間の町が疲弊しきつて、シャッター街になりつつあります。町長の目線で切り口で手がけてもらいたい。

### 町長答弁

どう乗り切るかという中で対策としては、プレミアム商品券の発行のための補助、マル経の利子補給の3年分の実施しております。経済対策については、さらに商工会と産業界との関係を密にしながら取り組んでまいります。

## 観光問題

### 再質問

今大間は、マグロの町で全国の人から注目されています。他県からきた人が、中には大間で暮らしたいと言う人もでてくるのではないかと。人口減少の歯止めにもなる。

### 町長答弁

私自身も町の営業マンという思いの中でPRさせていたただいております。観光は、裾野の広い産業であり、色々な業種に広がっていくものなので、これを大きく伸ばしていくのが、私のひとつの目標です。中国出身の地域協力隊が、台湾や海外に向けた地域のPRを発信しています。今年に残念だが今後またこれから盛り返していきます。

# 一般質問



正根 秋雄 議員

質問時間 40分

## 新型コロナウイルスの 経済対策について

**問** 今後町の経済対策は、どのように考えているのか。

又、観光面についても具体的な答弁を。

**町長答弁** 県の緊急事態宣言を受け町民の命と健康を守ることを第一義として、併せて、急激に落ち込んだ経済対策として地域振興商品券の配布や飲食店、宿泊業、みやげ専門店に臨時給付金を給付した。今後も第2波を想定した対策も必要である。観光面についても町のイベントは中止に

があれば教えてもらいたい。

**町長答弁** 予防対策としてマスクの購入の発行、飲食店や宿泊、みやげ店に対する助成もさせていた。商品券に関しては、町民皆さんに行き渡ったと思います。それを利用して事業者のプラス要因につながったと思います。

その中で色々な話が聞こえてきています。それらは今後のこととして参考にしたい。

**再質問** 町長も色々聞いていると思うが、今後観光面、事業者に対して第二弾をやる考えがあるのかはつきり答弁をお願いしたい。

**町長答弁** 第二弾についてはしつかり取り組んでいきたい。

**再質問** しつかり取り組んでいくつてどういう具合にして取り組むのか、早急に進めるのか、また、だからと何ヶ月もかかってやるのかはつきり答弁をしてもらいたい。

**町長答弁** 直ぐにやらなければいけない課題である。商品券を発行することによって、多い、少ない商店がある。また商品券を使えない業種や助成に含まれなかったところなど精査し支援策を考えて進めたい。

**再質問** コロナウイルスは誰も考えがつかない世界の事故である。大間町は原発の立地町である。今回住民に対して支援したのであればそれはそれで良いと思うが、原発が来た当時は、何かあれば必ず力になるとか、様々な意見や約束をして立地したと思う。町長も覚えているはずだ。だから、あやふやな答弁をしないで最低でも、これはやりまですぐらいはただ考えるのではなく一回目の助成した倍ぐらいの予算を見て頑張ります、そういう答弁をして町民を安心させてください。立候補の表明をしたんだから。

**町長答弁** 予算については、町の一般財源として財政調整基金等を使えるものである。金がないから出来ない

とかということでは片付けられる問題ではない。しつかりと内容を精査し、もしかすれば今回の規模より大きくなる可能性も有る。その辺はきちんと見据えて対応してまいりたい。

**再質問** そういう答弁を聞きたかった。これが経済対策だ。今の一言で町民がどのくらい喜ぶか、今後議会と相談して早めに対策を考えて進めていただきたい。

**町長答弁** 議会と相談しながらその案をしつかりと作り対策してまいります。

## 検討課題に対する 取り組み状況について

**問** これまで一般質問に対して検討課題の答弁が多い、どのような取り組みをしているのか。

**町長答弁** 検討の回答が多くあることについては、議会終了後の庁議において内容を確認し今後の対応を協議して予算計上をしているが、検討課題が多く実現できない課題が多いことは否めないが、直ぐに実現できることや、優先しなければならぬことなど選択しながら進める考えである。

**再質問** 検討するということ言葉は質問した人は皆、期待すると思ふ。自分の任期が1年

しかないとか半年しかないなど十分配慮して答弁しなければならぬ。3年も5年も先の検討なんて考えられない。定例会は年4回あるんだから、次の定例会には一言でもいいから、こういうわけになっていきますとか配慮するべきだ。そうしなければ誰も質問しなくなる。今後は必ず早めにしつかりと答えていただきたい。

**町長答弁** これは最もだと認識していません。ご指摘のあった任期内にできるもの、できないものという結果を、報告する機会を設けていければと思ふ。

# 一般質問



竹内 勝雄 議員

質問時間 40分

## 学校給食について

**質問** 私は、前に学校給食について、お尋ねしました。町長はその時に、前向きに検討しますとの回答でした。あれから、3年経過しています。その後、どこまで進展しているのか、お聞きしたいと思います。

**町長答弁** 平成29年6月の定例会で、ご質問をいただいております。教育委員会では、昨年10月、3町村で意見交換を開催いたしました。学校給食の必要性については、認識しています。しっかりと検

討して、住民の希望に  
応えられるよう進めて  
まいりたいというふう  
に考えています。

**再質問** 奥戸中学校  
が統合になるんです。  
その学校を活用し利用  
する事はできないん  
ですか。改めて、新し  
く建設するんじゃない  
かと、実際建っている  
物を利用するとか、そ  
ういうことはできない  
んですか。学校給食に  
すると、大間の人たち  
も、雇用の対象にな  
ると思いませんか。給  
食を進めていただき  
たいと思います。

**町長答弁** まずセン  
ター方式でやるか、各

学校に設置するか、それとも業者に委託するかというような方法が考えられます。今後の検討ということになっていくわけです。

**再質問** 大間は魚貝や海藻が豊富なので、漁協と一体となって、少しでも安く上げる事もできると思います。

町長、教育長さんは、そういうことを父兄の人たちと、そして学校の先生方と、コミュニケーションなどは取っているんですか。

**町長答弁** 学校給食の必要性は、私も認識しています。何故必要かということについては、まず、栄養のパランスが摂れた食事を提供していくということ。地元食材を如何に活用していくかということの必要性があるというふうに私は認識しています。

**教育長** 学校の校長先生方と毎月お話ししております。そういう中で、給食についても、もちろん話し合われておりますし、今小学校では大間の色んな産業について学んでいきます。

**再質問** 教育長の言葉聞いて、目途があるんだと、3年待ったかいがあつたなと思つてます。どうか父兄子供達のためにもぜひとも進めていただきたい。

## 農道整備について

**質問** 山崎石油さんのところから、石戸議長の信号の所までなんですけども、あの辺の個人の土地なんですけど、農道にかけて、家を建てたいという人が何人かいます。その農道を整備していただきたい。

**町長答弁** この区間には、同じような道路敷地が8箇所あります。整備に向けた手法の検討及び財源化の確保を考慮すれば、将来の課題にしていければというふうに思います。

**再質問** 大変だと思つてます、少しずつ手をつけないと、この道路はよくならないですよ。色々考えながら、今直ぐとは言いません、少しずつ進めていただきたいと思つてます。

**町長答弁** 大変な部分もござります。時間のかかることではありますけれども、検討していければと思います。都市計画っていうのは計画されているんです。ビジョンの中に何もなかったと思つてもなかつたと思つても盛り返して、少しずつ拡張して道路の整備をしてくださるようお願いいたします。

## 側溝設置について

**質問** 道路から離れた奥の方の場所は、まだ垂れ流し状態で水が流れていかなければなりません。衛生上もよくありませんので、側溝を設置していただきたい。

**町長答弁** 側溝整備であります。現状では側溝設置は非常に難しい状況にあるということでございます。

**再質問** 雨が降つたりすると、水が溜まつて流れていかなければならない苦情があるんです。現状を見ながら、調査してもらえればと思います。

**町長答弁** 今漠然としたこの地域であろうという事で話をしておりますので、調査をさせていただきます。調査していただきたいと思つてます。

**再質問** きちんと調査をして、なるべく早めに、そういう調査の結果を、検討、検討じゃなくて、途中で調査の結果をいち早く教えてもらえる事を切に願つて私の質問を終わります。

**町長答弁** きちんと調査をして、なるべく早めに、そういう調査の結果を、検討、検討じゃなくて、途中で調査の結果をいち早く教えてもらえる事を切に願つて私の質問を終わります。

# 一般質問



野崎 信行 議員

質問時間 60分

**町長答弁**  
委員会を設置するという考えはございません。

**問五**  
粗大ゴミについて、むつ市、風間浦村、佐井村は粗大ゴミを市町村でやっている。

**町長答弁**  
粗大ゴミ運搬は町では行いません。

**問六**  
水道料減免について、風間浦、青森市はコロナウイルス感染拡大を受け、水道料金を無料にしている。

**町長答弁**  
慎重に検討してまいります。

**問七**  
下手浜海岸護岸について、現在、下手浜海岸護岸は高さ3メートルである。巨大地震に備え、2メートル高く、5メートルにすべきである。

**町長答弁**  
処方針が示されるものと認識しております。

**問八**  
「オンライン診療」について、大病院で

も早急に導入すべきである。

**町長答弁**  
現状では困難ですが、今後の課題として、大病院に問題提起してまいります。

**問九**  
「下手浜 こんぶ道路」について、残土利用でもよく、早急に建設すべきである。

**町長答弁**  
残土処理用の整備でも、県との協議が必要となります。

**問十**  
役場案内人設置について、新築の役場は広く利用しやすいが、場所が分からず迷う町民があります。

**町長答弁**  
窓口において案内ができるよう徹底してまいります。

**問十一**  
一人暮らし世帯ゴミ回収について、弘前市ではゴミが出せない一人暮らしに、有料百円で業者が回収している。

**町長答弁**  
町として、社会福祉協議会に委託し、対応

しているところであります。

**問十二**  
国道279号線、338号線道の駅の駅建設について

**町長答弁**  
事業者等が手を挙げ、町に経済効果があると判断した場合、積極的に対応してまいります。

**問十三**  
改正国家戦略特区法、スーパーシティ構想について

**町長答弁**  
他自治体の状況を調査し、我が町に効果ある施策について、選択してまいります。

**問十四**  
「大間崎神社 カラスの間」道路の整備について

**町長答弁**  
状況を見極めながら対応してまいります。

**問十五**  
東京都から大間移住制度について、東京都が青森県に移住する人に、百万円を支給する制度を設け推進してい

る。

**町長答弁**  
県の移住支援金活用に向けた体制を整備してまいります。

**問十六**  
女優タレントの南明奈、柔道の泉選手、歌手の天童よしみなど、大間にゆかりのある人を広く任命すべきと思います。

**町長答弁**  
慎重に対処してまいります。

**問十七**  
大間崎キャンプ場及び周辺駐車場代替地について、大間崎キャンプ場及び周辺駐車場は、大間漁業協同組合の所有地であり、町がただで、四十年間使用しています。町は真摯に大間漁業協同組合との話し合いをするべきである。

**町長答弁**  
なんら、そのような申し入れはございません。

26の質問の中から17を掲載いたしました。

**町長答弁**  
町内の経営主体の取

ツルアラメ焼酎について、西目屋村がそば焼酎をつくった。大間町もツルアラメ焼酎をつくった方がよい。

**問一**  
すべて町が独自に対応できる状況にはありません。

**町長答弁**  
大間町のコロナウイルス検査対策について、フランス・イタリ

アのコロナウイルス検査は、ドライブスルー検査、ウォーク検査など多種にのぼる。大間町もやるべきである。

**問二**  
大間温泉について、宿泊している人に面会した場合は、三十分まで無料とすべきである。目安箱を設置すべきである。

**町長答弁**  
入館する際にはフロントで面会の旨を伝え、対応するということが原則と考えます。目安箱については指定管理者と協議をしてまいります。

**問四**  
「大間町指定管理制度」委員会について

# 全員協議会

〔令和2年5月1日〕

## 案件

一、新型コロナウイルス感染症対策について

①地域振興商品券の配布について

### (目的)

新型コロナウイルス感染症による景気の低迷により、町民及び町内の全ての産業に対し、影響が生じていることから、この状況を乗り切るための支援策を講ずることを目的とする。

### (効果)

「商品券」の発行により、町民の生活支援及び町内事業者の経済支援に繋げるものとする。

### (事業内容)

全町民を対象として、1人あたり1万円

円分の商品券とし、使用期限は三ヶ月間とする。

### (商品券の用途)

ア、商品券は千円券

×10枚とし、共通

商品券3枚、専用

商品券7枚とする。

イ、配布期間は、令和2年5月31日ま

で(ただし、最終

期限は8月30日ま

での本人申請を原則とする。)

ウ、利用期間は、令和2年8月31日ま

でとする。

(経費・見込額)

事業に係る予算見

込額は、人口517

3人分他印刷代、郵

送料等含め5345

万7千円を見込んで

いる。

②町内事業者(飲食・

宿泊・土産専門店)

支援対策臨時交付金

### (目的)

感染症拡大に伴

い、大きな被害を受

けている町内事業者

に対する経済支援策

として臨時給付金を

支給し、事業継続の

ための経済支援を行

うことを目的とす

る。

(効果)

給付金の支給によ

り、今後の事業継続

に繋げることが出来

る。

(事業内容)

大間町に住所及び

店舗を有する飲食・

宿泊事業者及び土産

専門店とする。

ア、給付の対象とな

る事業者の条件は

営業許可書を有

し、令和元年に営

業の実績があり、

現在も営業を継続

している事業者。

イ、臨時給付金は10

万円とする。

ウ、申請期限は、5

月中に開始し、期

間は一ヶ月程度と

する。

エ、申請方法は、申

請書他、添付書類

を添えて申請する

こととなる。

(経費・見込額)

事業に係る経費は

見込みで75件×10万

円で750万円とな

る。

※本案は、急を要する

ため、町長の専決事

項として、事業を進

めることで、賛成多

数で決定となった。

〔令和2年6月30日〕

## 案件

一、議会の議員の議員報酬の特例に関する条例及び特別職職員の特例に関する条例について

①議会の議員の議員報酬及び特別職職員の給与を一定期間減額

し、地域社会経済が

厳しい状況下にある

ことに対処するため

に改正するものであ

ります。

②減額の割合は、議会

議員報酬月額5%の

減額、町長は、月額

15%・副町長及び教

育長は月額10%減額

となります。

③減額の期間は7月1

2月までの6ヶ月間

で議会及び町特別職

の削減額は合計で約

230万円となり、

削減された金額は新

型コロナウイルス感

染拡大に伴う地域社

会経済安定に寄与されることとなりま

す。

※本案は、6月議会定

例会において、賛成

多数で可決されました。

二、大間町まち・ひ

と・しごと創生人口

ビジョン改訂版及び

第2期総合戦略の報

告について

(人口ビジョン)

町の人口減少に対

する中長期展望で、

人口などの動向分析

や町民意識を踏まえ

て2040年(人口

5275人)を視野

に入れ策定していま

す。

(総合戦略)

町の「まち・ひ

と・しごと創生」

に向けた目標や施策

の基本的方向、具体

的な施策をまとめた

もので、町の総合計

画に即した施策の基



本的方向、具体的な施策を設定していません。以下、この施策等に問い合わせのある方は「企画経営課」にお問い合わせ下さい。

**三、新墓地造成工事費に係る当初予算の見直しについて**

(旧墓地整備計画調査業務委託料への組替えについて)

令和2年大間町議会第1回定例会(3月開催)で当初予算審議の際に、新墓地造成よりも先に、旧墓地全体の通路の段差等を修復すべきとの意見があり、町長答弁で再考するとの回答に伴う変更であり、旧墓地整備を先に進めるため、調査委託料に予算を組替えするものです。  
※本案は6月定例会で可決されました。



〔参考写真〕北通り種苗育成センター周辺の太陽光発電設備設置位置(ピンク部分)

**四、北通り種苗育成センターへの太陽光発電設備導入について**

本事業は、北通り種苗育成センターの電気を太陽光発電設備でまかなう事により年間213万円(計画)ほどの電気料金を削減できる施設であるそうです。

この事業に係る工事費等は、1億8360万円であり、その予算は「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業」国の補助金でまかなうこととなります。  
※本案は6月定例会で可決されました。

**五、大間町海峽保養センター・養老センター指定管理料の見直しについて**

本案は、新型コロナウイルス感染症拡大防止にあたり、地域経済が厳しいことにより、海峽保養センター運営も休館となり、経営状況も苦しくなったことにより、指定管理料の見直しをするものであります。

指定管理料の増額補正は、保養センター・養老センター合わせて820万円の増となります。  
※本案は6月定例会で可決されました。

〔令和2年7月3日〕

**案件**

**一、新型コロナウイルス感染症対策(第2弾)について**

**①地域振興券の配布について(第2弾)**

**(目的)**

新型コロナウイルス感染症による景気の低迷が続いていることにより第2弾となる支援策を講ずるものである。

**(効果)**

2回目となる商品券発行により、町民及び町内事業者の経済支援に繋げるものである。

**(内容)**

ア、前回同様、全町民に1人あたり1万円分の商品券(千円券10枚)を配布し、共通券3枚、専用券7枚とする。  
イ、配布期間は、令和2年7月22日(7月31日まで)まで。

和2年7月22日(7月31日まで)まで。

ウ、利用期間は、令和2年7月22日(10月31日までの3ヶ月間とする)。

**(予定)**

エ、配布対象者の基準日は、住民基本台帳による令和2年7月1日とする。

**(経費・見込額)**

事業に係る予算見込額は、人口5180人×1万円他印刷代、郵送料等を含め5346万7千円を見込んでいます。  
※本案は、7月8日開催の臨時議会において賛成多数で可決されました。

# 特別委員会

〔令和2年5月15日〕

## 【大間町公共施設配置計画策定・建設特別委員会】

### 案件 一、(仮称)複合施設建設事業について

本事業は、令和2年5月発行の「議会だより」で報告しておりますが、町長より、規模の変更をしたいとの申し出があり開催されました。変更の理由については、中学生を含めた住民アンケートにより、施設の規模を1310㎡から1500㎡に変更するものであるとのことであり、しかしながら、今後の大間町の人口の推移を見る

と、かなりの減少が予想されることから、検討が必要とされる意見が多くありました。また、建設費も、6億〜7億とのことで検討は必要と思います。ただし、町長方からは、建設費については、国の補助事業で行うとのことから安心感はあるものの、建設後の維持管理費はどうなるのかも考えなければなりません。特別委員会として、先例地の視察を行う事としておりますので、視察後には、皆様に報告したいと思っております。

〔令和2年6月10日〕

## 【大間原子力発電所対策特別委員会】

### 案件 一、新規制基準適合性審査の対応状況について

国の原子力規制委員会による大間原子力発電所適合性審査会合の開催は2020年5月21日で38回目を数えているが、依然として本格工事再開の時期が見えてこない状況である。

二、建設運転差止等請求訴訟の審理状況について

住民訴訟の現在の状況は、2018年3月に札幌高裁にて控訴審を行った。2

2020年4月14日に行う予定であった口頭弁論は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10月8日に延期となっている。

函館市の訴訟の状況は、コロナの関係で2020年9月18日に口頭弁論を行う予定である。

## 【大間・函館フェリー航路対策特別委員会】 大間・函館航路運輸実績の報告について

津軽海峡フェリー(株)からの資料により説明がなされました。資料によると、平成26年から平成31年の大間〜函館航路の旅客人数は、8万6千人から10万1千人となっており、

車輛(貨物)台数は910台から1532台となっており

り、バスは206台から294台となっており、乗用車は2万2千台から2万8千台となっており、バイク等は、3600台から4200台となっており、最後に病院通院者は、8100人から9800人となっており、又、損益計算書により、平成27年は▲1億4000万、28年は▲8500万、29年は▲1億5千万、30年は▲1億9千万、31年は▲1億4千万の赤字が計上されております。しかしながら、津軽海峡フェリー(株)は、青森・函館間フェリーの新造船を2隻も建造していることから、大間航路の損益計算書がどのように作成されているのか、わ

からない状況であることから、今後は、会社を交えて話を聞かなければならないと全員の一致した意見でありました。なぜならば、大間・函館間フェリーの指定管理委託期間は、あと5年ほどとなっていることから、今後の最重要課題といわざるを得ないということ、議員全員は改めて認識を一致したところです。



# 報告

## 大間町公共施設配置計画策定・建設特別委員会先例地視察研修

7月1日、2日 横浜町・むつ市



「菜の花にこここセンター」 横浜町保健・児童センター  
令和2年4月1日 利用開始



**視察目的**  
旧役場・病院跡地に建設予定の（仮称）複合施設、新大間消防署庁舎建設に伴い先例地である横浜町の保健・児童センターやむつ市大湊・大畑消防署を視察し職員の方々の意見交換及び建設計画の参考を目的に視察させて頂きました。



野坂町長・福祉課長より施設の説明



下北地域広域行政事務組合 大湊消防署  
竣工年月 令和元年12月

下北地域広域行政事務組合 大畑消防署  
竣工年月 平成22年9月

管理者 宮下市長より概要説明



大間町公共施設配置計画策定・建設特別委員会は、横浜町・むつ市へ先例地視察を行いました。議会から石戸議長、岩泉特別委員会委員長ら8名、大間町から金澤町長ら5名が参加しました。

（記） 堺  
翌日の大湊・大畑消防署の視察では大間町民の命・財産を守るために、どの様な庁舎建設をすれば良いか、現場で働く署員の方の意見や要望を参考に、熟慮を重ね一層の議論をしていきます。

大間町の保健・児童センターの建設の経緯として学校の統合・既存の施設の老朽化があり、一つの施設に集約する事でコスト削減や包括的な事業に対応する事ができます。



# 報告

## 県下町村議会議員研修会

7月9日 青森市 リンクモア平安閣市民ホール

令和2年7月9日  
青森市リンクモア平安閣市民ホールにて  
青森県町村議会議長  
会主催（会長 石戸大間町議会議員）の県下町村議会議員研修会が行われました。  
講師は、  
政治評論家  
有馬 晴海氏  
『これからの政局・政治展望』



講師 有馬 晴海氏



開催のあいさつ  
石戸 県町村議会議長会会長



大間町議会定例会自治功勞者表彰記念 H31.3.11

平成31年 3月  
全国町村議会議長会会長自治功勞表彰



千代谷 誠 儀が、  
令和2年7月16日  
午前9時  
病氣療養中のところ  
享年66歳で  
逝去されました。

平成15年4月に町  
議会議員初当選以  
来、五期余務められ、  
その間、

議会運営委員長  
総務教育常任委員長  
などの要職を歴任さ  
れ、本町の発展に多  
大の貢献をされまし  
た。

ここに、生前の幾  
多の功績をたたえ、  
慎んで哀悼の意を表  
します。

大間町議会  
議員一同



## 編集後記

新しい生活様式が、  
浸透し始め学校行事も  
感染予防対策を取りな  
がら行われ始めました。  
奥戸小中合同運動会  
は、今年最後の年、盛  
大に幕を閉じました  
が、そこで披露された  
のが、今月の議会だよ  
りの表紙になりました  
『奥戸応援歌』  
かつて町民運動会で、  
披露されてきました。  
残念ながら時代の流れ  
で、町民運動会もなくな  
り、地域が一つになる  
行事が少なくなりました  
た。町民運動会には、  
運動をするだけではなく  
隣近所との交流・結  
束・地域活性の意味合  
いもあります。さらに  
は、災害時の避難の声  
掛け等にも役立つと  
思っています。素晴ら  
しい伝統と地域一丸と  
なる町民運動会を再び  
行なえる日が来ること  
を願っています。

(記) 堺

議会広報編集委員

委員長

吉田 安 男

副委員長

佐々木 信 彦

委員

野 堀 信 彦

岩竹 泉 盛 利

野 内 勝 雄

堀 崎 信 行

界 崎 祐 彦